本資料は、米国アッヴィ社が 2026 年 10 月 30 日（米国時間）に発表したプレスリリースを一部、日本語に翻訳し、2026 年 11 月 5 日（日本時間）、皆さまのご参考として供するものです。本資料の正式言語は英語であり、その内容および解釈については英語が優先します。日本で発売されている製品は日本の製品名を記載しています。本資料（英文）については、www.abbvie.com をご覧ください。なお本文中には日本未承認薬、未承認適応症に関する情報が含まれています。

PRESS RELEASE

2026 年 11 月 5 日

アッヴィ、2026 年第 3 四半期の業績を発表

- 第 3 四半期の希薄化後 1 株当たり利益（EPS）は GAAP ベースで、100.0%を超える増加となる 2.37 ドルでした。調整後希薄化後 EPS は 100.0%を超える増加となる 3.82 ドルでした。これらには、取得した仕掛研究開発費およびマイルストーン支払に関連した 1 株当たり 0.11 ドルのマイナスの影響が含まれます。
- 第 3 四半期の売上高は、報告ベースで 10.3%増、営業ベースで 10.5%増の 174 億 400 万ドルでした。
- イミュノロジー（免疫）領域の第 3 四半期の売上高は、報告ベースで 16.3%増、営業ベースで 16.6%増の 91 億 6,500 万ドルでした。スキリージ®の売上高は、57 億 7,600 万ドルでした。リンヴォック®の売上高は、27 億 600 万ドルでした。ヒュミラ®の売上高は、6 億 8,300 万ドルでした。
- ニューロサイエンス（精神・神経疾患）領域の第 3 四半期の売上高は、報告ベースで 19.4%増、営業ベースで 19.5%増の 33 億 8,900 万ドルでした。Vraylar（日本では未承認・未発売）の売上高は、10 億 6,800 万ドルでした。ボトックス・セラピューティック（日本ではグラクソ・スミスクライン株式会社による承認承継・販売）の売上高は、10 億 8,000 万ドルでした。Ubrelvy およびアクイプタ®の売上高は合わせて、8 億 4,700 万ドルでした。ヴィアレブ®の売上高は、2 億 8,600 万ドルでした。
- オンコロジー（がん）領域の第 3 四半期の売上高は、報告ベースで 0.8%増、営業ベースで 0.9%増の 16 億 9,600 万ドルでした。ベネクレクスタ®の売上高は、8 億 300 万ドルでした。イムブルビカ®（日本ではヤンセンファーマ株式会社による承認・販売）の売上高は、5 億 2,200 万ドルでした。Elahere（日本では武田薬品工業株式会社による承認）の売上高は、2 億 2,400 万ドルでした。
- エステティックス（美容医療）領域の第 3 四半期の売上高は、報告ベースで 1.4%減、営業ベースで 1.8%減の 11 億 7,600 万ドルでした。ボトックス・コスメティックの売上高は、6 億 6,900 万ドルでした。ジュビダームの売上高は、2 億 2,200 万ドルでした。
- Apogee Therapeutics の買収を完了し、アッヴィの強固なイミュノロジー領域のパイプラインをさらに強化しました。
- 2026 年における調整後希薄化後 EPS ガイダンスのレンジを、13.76 ドル～13.96 ドルから 13.95 ドル～13.99 ドルへ引き上げました。これには、第3四半期までに発生した、取得した仕掛研究開発費およびマイルストーン支払による 1 株当たり 0.69 ドルのマイナスの影響が含まれます。
- 2027 年 2 月支払い分の配当から、5.2%の増配を発表しました。

米国イリノイ州ノースシカゴ、2026 年 10 月 30 日—アッヴィ（NYSE：ABBV）は、2026 年第 3 四半期（2026 年 9 月 30 日終了）の業績を発表しました。

アッヴィの会長 兼 CEO のロバート・A・マイケルは、次のように述べています。「アッヴィは、多様なポートフォリオ全体にわたる着実な事業遂行を背景に、引き続き堅調な業績を上げています。また、主要な承認の取得、差別化につながる臨床データの創出、Apogee Therapeutics の買収完了を通じて、長期的な成長力をさらに高めました。堅調な見通しと好調な業績を踏まえ、アッヴィは通期業績ガイダンスを再び引き上げるとともに、四半期配当を増額します」

2026 年第 3 四半期の業績

- 売上高は、報告ベースで 10.3%増、営業ベースで 10.5%増の 174 億 400 万ドルでした。
- イミュノロジー（免疫）領域の売上高は、報告ベースで 16.3%増、営業ベースで 16.6%増の 91 億 6,500 万ドルでした。
    - スキリージ®の売上高は、報告ベースで 22.7%増、営業ベースで 22.9%増の 57 億 7,600 万ドルでした。
    - リンヴォック®の売上高は、報告ベースで 23.9%増、営業ベースで 24.3%増の 27 億 600 万ドルでした。
    - ヒュミラ®の売上高は、報告ベースで 31.2%減、営業ベースで 30.6%減の 6 億 8,300 万ドルでした。
- ニューロサイエンス（精神・神経疾患）領域の売上高は、報告ベースで 19.4%増、営業ベースで 19.5%増の 33 億 8,900 万ドルでした。
    - Vraylar（日本で未承認・未発売） の売上高は、14.3%増の 10 億 6,800 万ドルでした。
    - ボトックス・セラピューティック（日本ではグラクソ・スミスクライン株式会社による承認承継・販売）の売上高は、9.8%増の 10 億 8,000 万ドルでした。
    - Ubrelvy（日本で未承認・未発売）の売上高は、26.9%増の 4 億 4,900 万ドルでした。
    - アクイプタ®の売上高は、報告ベースで 38.2%増、営業ベースで 38.5%増の 3 億 9,800 万ドルでした。
    - ヴィアレブ®の売上高は、2 億 8,600 万ドルでした。
- オンコロジー（がん）領域の売上高は、報告ベースで 0.8%増、営業ベースで 0.9%増の 16 億 9,600 万ドルでした。
    - ベネクレクスタ®の売上高は、10.7%増の 8 億 300 万ドルでした。
    - イムブルビカ®（日本ではヤンセンファーマ株式会社による承認・販売）の売上高は 26.1%減の 5 億 2,200 万ドルでした。
    - Elahere（日本では武田薬品工業株式会社による承認）の売上高は、報告ベースで 31.0%増、営業ベースで 31.2%増の 2 億 2,400 万ドルでした。
- エステティックス（美容医療）領域の売上高は、報告ベースで 1.4%減、営業ベースで 1.8%減の 11 億 7,600 万ドルでした。
    - ボトックス・コスメティックの売上高は、報告ベースで 4.9%増、営業ベースで 4.1%増の、6 億 6,900 万ドルでした。
    - ジュビダームの売上高は、報告ベースで 11.9%減、営業ベースで 11.8%減の 2 億 2,200 万ドルでした。
- GAAP ベースで、売上総利益率は 75.4%でした。調整後売上総利益率は 85.1%でした。

- GAAP ベースで、売上高に占める販売費および一般管理費の割合は、23.5%でした。調整後の売上高に占める販売費および一般管理費の割合は 21.2%でした。
- GAAP ベースで、売上高に占める研究開発費の割合は、14.7%でした。調整後の研究開発費の売上高に占める割合は、13.9%でした。
- 取得した仕掛研究開発費およびマイルストーン支払の売上高に占める割合は 1.2%でした。
- GAAP ベースで、営業利益率は 36.0%でした。調整後営業利益率は 48.7%でした。
- GAAP ベースで純支払利息は 7 億ドルでした。調整後純支払利息は 6 億 8,800 万ドルでした。
- GAAP ベースで、税率は 12.6%でした。調整後の税率は、13.6%でした。
- GAAP ベースの希薄化後 EPS は、2.37 ドルでした。特定項目を除く調整後稀薄化後 EPS は、3.82 ドルでした。これらには、取得した仕掛研究開発費およびマイルストーン支払に関連した 1 株当たり 0.11 ドルのマイナスの影響が含まれます 。

注意：「営業ベース（Operational）」の対比は、恒常為替レートで提示し、前年の為替レートにより現地通貨売上高の比較を実施しています。

詳細な情報はこちらをご覧ください（英文オリジナル）。
https://news.abbvie.com/2026-10-30-AbbVie-Reports-Third-Quarter-2026-Financial-Results

アッヴィについて

アッヴィのミッションは現在の深刻な健康課題を解決する革新的な医薬品の創製と提供、そして未来に向けて医療上の困難な課題に挑むことです。一人ひとりの人生を豊かなものにするため次の主要領域に取り組んでいます。免疫疾患、精神・神経疾患、がん、さらに美容医療関連のアラガン・エステティックスポートフォリオの製品・サービスです。アッヴィの詳細については、www.abbvie.com をご覧ください。LinkedIn, Facebook, Instagram, X や YouTube でも情報を公開しています。

Forward-Looking Statements

Some statements in this news release are, or may be considered, forward-looking statements for purposes of the Private Securities Litigation Reform Act of 1995. The words "believe," "expect," "anticipate," "project," "estimate," "intend," "plan," "target," "may," "could" and "will," and similar expressions and uses of future or conditional verbs, generally identify forward-looking statements. AbbVie cautions that these forward-looking statements are subject to risks and uncertainties that may cause actual results to differ materially from those expressed or implied in the forward-looking statements. Such risks and uncertainties include, but are not limited to, challenges to intellectual property, competition from other products, difficulties inherent in the research and development process, adverse litigation or government action, changes to laws and regulations applicable to our industry, drug pricing reform and government pricing programs, risks related to the use of artificial intelligence or other emerging technologies, and the impact of global macroeconomic factors, such as economic downturns or uncertainty, international conflict, trade disputes, tariffs and changes in U.S. and international trade policies, and other uncertainties and risks associated with global business operations. Investors are cautioned not to place undue reliance on these forward-looking statements, which speak only as of the date made.

Additional information about the economic, competitive, governmental, technological and other factors that may affect AbbVie's operations is set forth in Item 1A, "Risk Factors," of AbbVie's most recently filed Annual Report on Form 10-K, as updated by its Quarterly Reports on Form 10-Q, Current



Reports on Form 8-K and in other documents AbbVie subsequently files with the Securities and Exchange Commission that update, supplement or supersede such information. AbbVie undertakes no obligation, and specifically declines, to release publicly any revisions to forward-looking statements as a result of subsequent events or developments, except as required by law.